

「観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日我には一生」
(短歌を味わう) テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

- 問1 この短歌の作者を漢字で書きなさい。
- 問2 この短歌での「一日」の読みをひらがなで答えなさい。
- 問3 この短歌での「一生」の読みをひらがなで答えなさい。
- 問4 「想ひ出」を現代仮名遣いに直して書きなさい。
- 問5 この短歌は何句切れか答えなさい。
- 問6 「観覧車回れよ回れ」の部分で使われている表現技法を2つ答えなさい。
- 問7 「君には一日我には一生」の部分で使われている表現技法を2つ答えなさい。



問8 この短歌が表現している心情として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：自分と相手の価値観の差に対する落胆
- イ：恋人同士のお互いへの激しい愛情
- ウ：特別な時間を噛み締める切ない気持ち
- エ：友人たちとの何気ない日常を懐かしむ気持ち

問9 句切れの位置により、この短歌には次のア・イのうちどちらの効果が与えられているかを選び、○で囲みなさい。

- ア：優雅な印象
- イ：力強い印象



「観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日我には一生」
(短歌を味わう) テスト対策練習問題 (解答)

問1 栗木京子

問2 ひとひ

問3 ひとよ

問4 「想ひ出」

【解説】歴史的仮名遣いの語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は、現代仮名遣いの「わ・い・う・え・お（わ行）」となる。

問5 二句切れ

【解説】大きな意味でわけると「観覧車回れよ回れ」と「想ひ出は君には一日我には一生」とに分けられる。第2句のあとに意味が切れているため、「二句切れ」である。

問6 ・反復法

・擬人法

※順不同

【解説】「回れ」という言葉繰り返し使われているため、反復法である。人間ではない観覧車を、まるで人間のようにたとえる擬人法が使われている。



- 問7 ・対句法
・体言止め
※順不同

【解説】「君」に対して「我」、「一日」に対して「一生」という語句が対で使われている。「我には一生」は、「一生」という名詞で終わっていて、体言止めになっている。

- 問8 ウ

【解説】「想ひ出は 君には一日 我には一生」は、観覧車に乗っているこの時間の「思い出（思い出）」は、「君には一日の思い出」だけれど、「我（私）には一生」だ、という意味であり、ここには相手を責める気持ちではなく、その時間が特別で、大切に感じているという切ない気持ちが込められている。

- 問9 イ

【解説】二句切れ・四句切れは荘厳で力強い印象を与える効果がある。

